

( )

には記入しない。

|    |   |      |     |
|----|---|------|-----|
| 問一 | a 組織  | b 浴び | c 姿 |
| 問二 | A 背中  |      |     |
| 問三 | B 老若男女  |      |     |
| 問四 | <p>食事について徹密に調べ結果、食べることは、必ず通り自分の体の一部で、食べれば夫ものに置き換わっていく過程であるから、驚きと賞讃とともに、人へのおもしろさを感じている。</p>                                      |      |     |
| 問五 | <p>食事とは、少なくとも三五歳前ぐらいから一度も減ったことがない生命の現われであり、使われず原料は何歳前に別の進化とした生命の丹皮とも言え、どのスケールの大まかさと生態学的豊富さには感謝と喜ぶを覚えるから。</p>                    |      |     |
| 問六 | <p>現在の社会は、自然の圧倒的な潤沢な富を大金に換わり、それは買えない商品に変わってしまうが、本来人間は自然から圧倒的な富を身につけており、それを実際に経験すること、驚きと感謝を覚える贈り合う大切さを知り、その連鎖をつなぐことで人に成長できる。</p> |      |     |

|    |  |      |      |
|----|--|------|------|
| 問一 | a 近隣   | b 心情 | c 多量 |
| 問二 | A 大まか  | イ 黄色 |      |
| 問三 | A 助け舟  |      |      |
| 問四 | <p>① 生前は切磋琢磨があり、良き丹敷きであった友人が亡くなる。亡くなったことへの追悼の意や尊敬の念。</p> <p>② 独楽の俳句であったような切磋琢磨ごころの友人関係に悼念をもち、また素晴らしい俳句も詠めたいと考えているが、実際は俳句に理解を示さず木下ソラと偽りつけてしまうことになり、謝罪する気持ちと理想と現実との落差に自分の大量不足も深く気持ちと成思ひり合っている。</p> |      |      |
| 問五 | <p>ハセオが悪意を振る自分を思慮する俳句を作者も存命時にはないことはソラに分かっており、許す気持ちには心にあたり、仲直りするきっかけとしてうまく決め方にした。しかし、ハセオの謝罪もまづけに、ソラにとってはハセオは事々に友人であることに気づかずに、友人であるハセオと仲直りできるまで、丹心している。</p>  |      |      |
| 問六 | <p>現在のソラにとって唯一の友人といえるハセオが、自分の仲直りのためにわざわざ取ってこられたひまわりの種は、ソラにとって友情の証であり、かり成るのないこの種を大切にしようと思える。</p>  |      |      |